

教区学生担当委員長各位

天理教学生担当委員会

教区における大学生層育成についての様々な取り組み

——「教区担当者懇談会」の「ねりあい」から——

先月の「教区担当者懇談会」（立教 182 年 8 月 25 日）のなかで、大学生層の育成についてのねりあいをおこないました。以下は、その中で出てきた各教区における取り組みや意見の一部をまとめたものです。これからの大学生層育成の上に、ご参考にしてください。

○ 学生の把握につとめている

- ・名簿の管理をすすめ、学生を把握するシステムをつくっている。

○ 学生の自主性を促している

- ・大学生の自主的な活動を促すために、学生会に銀行口座のカードを渡している。そして、銀行口座の管理は学担が責任を持っておこない、学生にはカードを自由に使わせている。
- ・学生会活動を大学生に完全に任せ、失敗も経験させる、というような心持ちでいる。

○ 「まなびば」を活用している

- ・「まなびば」と同日に、同じ内容で部屋を分けて「大学生セミナー」をおこない、夜には一緒に BBQ をしている。これは、部活などで忙しかった高校生の頃よりも、大学生になった今のほうが時間をとりやすく、行事に参加しやすいという意見があったから始めたものである。ちなみに当日には、高校生に比べて大学生の方がいきいきと喜んでくれている様子も見受けられ、大学生が高校生を「まなびば」に誘ってきてくれる雰囲気もだんだんできてきている。
- ・「まなびば」のカウンセラーを大学生にしてもらっている。
- ・「まなびば」のトレーナーを 20 代独身の青年会員や女子青年に任せたところ、来年は私たちに全部任せてくださいという声をもらった。大学生には「まなびば」のサブトレーナーとして関わってもらっている。

○ 行事への参加しやすさを工夫している

- ・教区とおぢば管内にいる学生さんが企画して、「道の学生ひのきしん Day」を 2 箇所で開催している。
- ・おぢばから離れた教区では、2 泊 3 日のミニ学修を大学生コース、高校生コースに分けて来年 2 月に開催しようと計画している。

○ 教区間の連携をはかっている

- ・「春の学生おちばがえり」のあとに交流会をしている。
- ・九州、四国ブロックでは、「春の学生おちばがえり」の翌日に本部施設を借りて、室内オリピックなどを行っている。

○ 各会との連携をはかっている

- ・学担だけでなく、三会を巻き込んで、合同で献血活動をおこなっている。
- ・青年会、女子青年と連携して花見をしている。
- ・学生会の「新入生歓迎会」と少年会の「わかぎ錬成会」を同時に行い、少年会員と大学生のつながりをつくり、そこから大学生に、「少年ひのきしん隊」のサブカウンセラーをつとめてもらうようにしている。

○ 教区での独自の取り組みをおこなっている

- ・三重教区では、「こどもおちばがえり」の担当行事（忍者村）に大学生をスタッフとして積極的に誘い、参加した大学生同士がつながりを持てるようにしている。そして、大学生同士が Work&Talk へ誘いあうように促している。
- ・三重教区内に F1 のサーキット場があり、そこでママチャリ 6 時間耐久レースが開催されている。今年はずじめてその耐久レースに教区の育成部が中心になって参加し、大学生にも参加を呼びかけた。ちなみに、参加チームにはブースが一つ与えられ、交代で 6 時間ひたすら走り続ける。ブースの中では BBQ など自由に行うことができ、各会の垣根を越えて交流をおこなうことができた。

○ その他（これからの希望や提案）

- ・学生さんが直接声をかけるのと、そうでないのでは集まり方が違うので、学生さんが熱を持っていくための後押しをしていきたい。
- ・おちばにいる教区の学生を集めて、「まなびば」のような行事をしたい。
- ・学生さんにとって魅力的な行事を探していく（鍋コンテスト等）。
- ・キャンプなどの行事と抱き合わせで、献血を交えてできたらいいと思う。
- ・道の教職員の方のご協力を得て、中学生に勉強を教える勉強会をおこなえば、そこに大学生も参加できるのではないかなと思う。
- ・他教区とお互いに補うような形で何かできればいいと思う。
- ・何かしらお道の精神を持って、自分の武器になり、就職につながるような働きかけができるのではないかな。